

男女共同参画週間 事業

期間：6月23日(日)～29日(土)

『男女共同参画週間』の関連事業として、男女平等・共同参画セミナーと、パネル展示を行いました。

第1回 6月15日(土)開催

～私の不満、ストレスの根っこにあるもの～
〔話題提供〕向 富士子さん
(高岡 DV 被害者自立支援基金「ガ」代表)

〔内容〕それぞれが生活の中で感じている不満・ストレス等を、グループで話しあうことをとおして、みんなが共通して感じていることや、根底にある固定的な性別役割分担意識について考えました。

〔感想〕

- ◆女らしくしなければいけないという、自分とのギャップがストレスの根っこかと感じた。
- ◆自分があたりまえだと受け入れていた事柄にも、おかしいと思う気があった。
- ◆自分の気持ちは、なるべく相手に伝えることが大切と知り、実践しようと思った。楽しい時間だった。



第2回 6月29日(土)開催

～「〇〇らしく」をやめて、楽になる～
トーク&トーク

話し手：尾崎 恵子さん
(成美校下連合婦人会長)

聞き手：向 富士子さん
(高岡 DV 被害者自立支援基金「ガ」代表)

〔内容〕自分が〇〇らしくにとらわれないか意識チェックを行い、尾崎さんの地域や議員時代の活動をおして、感じたことをお聞きし、自分らしさや、自分がどう感じるかを大切に生きる生き方について考えました。

〔感想〕

- ◆ジェンダーという言葉が、まだまだ市民権を得ていないと感じた。
- ◆不満やストレスを解決したいという強い意志や希望が大事だと感じた。
- ◆ジェンダーは、自分の頭に根づいているだけのもので、男女格差の無い世の中に少しずつ変わってきていることを感じうれしく思った。



パネル展示

〔会場〕男女平等推進センターサロン、高岡市役所1階ロビー、福岡庁舎、支所

〔内容〕高岡市男女平等推進プラン後期事業計画の6つの視点・考え方について、キーワードごとにイラストを交えました。

ワーク・ライフ・バランスでは、仕事と家庭の調和について会話形式で分かりやすくしました。



仕事と生活の調和が大切!

ワーク・ライフ・バランス推進シンポジウムを開催しました

7月10日(水)にワーク・ライフ・バランス推進シンポジウムを開催し、ワーク・ライフ・バランス推進に積極的に取り組んでいる12事業所に認定証を授与しました。

講演では、定塚由美子さん(厚生労働省雇用均等・児童家庭局総務課長)を講師に迎え、ワーク・ライフ・バランスの取り組みが仕事と生活の充実につながることや、メリハリのある働き方への転換から、個人、企業とともにメリットが生まれることなど話され、ワーク・ライフ・バランスの必要性を学びました。

また、事例発表では特別養護老人ホーム「アルテン赤丸」の稲垣施設長が、取り組みを発表し、働きやすい職場づくりの大切さに理解を深めました。



〔認定事業所〕

福岡福祉会(特別養護老人ホームアルテン赤丸)、㈱イカイ硝子建材、高岡ガス㈱、チエコペットクリニック、(有)仁光園、丸進商事㈱、㈱アキデザイン、㈱才高、㈱せんだ、㈱北陸化成工業所、㈱本田ししゅう、㈱マーフィーシステムズ

市民企画講座

【企画：楽学電腦座】

自分って何?～エンディングノート作成を通じて見えてくる過去、未来、今の自分～

〔第1回〕

女性の死から考えるエンディングノート

開催 7月21日(日)

講師 浦田節子さん(楽学電腦座)

会場 男女平等推進センター会議室

楽学電腦座(男女平等推進センター活動登録団体)企画による講座の第1回目が開催されました。

講義やワークをおして、自分と向き合うより良い生き方について学びました。

〔内容〕

- ◆エンディングノートには、自分の不安なことを明確化しておくこと。
- ◆何のために、誰のために、エンディングノートがあるのか。
- ◆人生の三大出来事を思い出すことで、今の自分もっている価値観に気づく。

〔第2回〕

男性の死から考えるエンディングノート

開催日 8月18日(日)午後1時～5時

講師 吉田 重雄さん(心理カウンセラー)

会場 男女平等推進センター会議室

講義やワークショップを通じて、エンディングノートの内容についてより深めていきます。
※要事前申込 お申し込みください。



〔感想〕

- ◆エンディングノートというのは、型にはまったものに思っていたが、自由に思ったことを書いても良いのだと分かった。
- ◆ワークショップを通じて、具体的に何を考えて、どう生きたいとか、どう暮らしたいのかなど、自分の気持ちが確認できた。

高岡市DV対策関係機関連絡会開催

7月11日(木)に男女平等推進センター会議室において、高岡市DV対策関係機関連絡会を開催しました。

構成するのは、警察署、県女性相談センター、児童相談所など9機関・団体です。各機関における平成24年度のDV相談件数や対応状況を報告し、意見交換を行いました。

男女平等推進センターのDVの相談件数は年々増加しており、平成24年度の全相談件数の内、DVが占める割合は56.5%です。DVの発見や対策、また関係機関が連携して対応することの必要性などについて広く意見が交わされました。



男女平等推進センター日誌抄

6月・7月

6月 5日(水)	若い世代のDV等予防啓発プログラム検討チーム会議	7月 10日(水)	ワーク・ライフ・バランス推進シンポジウム
12日(水)	男女平等推進プラン情報誌「ありて」第3回編集会議	11日(木)	高岡市DV対策関係機関連絡会
15日(土)	私らしさ応援セミナー 第1回～私の不満・ストレスの根っこにあるもの～	17日(水)	「ありて」第4回編集会議
23日(日)	パネル展示 〔男女共同参画週間事業〕 ・高岡市男女平等推進プラン後期事業計画 —Next アクション100— ・ワーク・ライフ・バランス	18日(木)	若い世代のDV等予防啓発プログラム検討チーム会議
29日(土)	話スペース「ほこ あ ほこ」 誰でも安心して話せる場	21日(日)	市民企画講座：【企画：楽学電腦座】自分って何?～エンディングノート作成を通じて見えてくる過去、未来、今の自分～ 【第1回】女性の死から考えるエンディングノート 講師：浦田 節子さん
28日(金)	私らしさ応援セミナー 第2回～「〇〇らしく」をやめて、楽になる～	24日(水)	男女平等 EXPO 高岡 2013 準備会
29日(土)		26日(金)	話スペース「ほこ あ ほこ」